

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

九度山町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

和歌山県伊都郡九度山町

3 地域再生計画の区域

和歌山県伊都郡九度山町の全域

4 地域再生計画の目標

九度山町の総人口は、昭和 60 年の 7,395 人から、令和元年 10 月 1 日現在には 3,979 人と 35 年間で 3,416 人が減少しています。平成 30 年の国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、令和 42 年には約 800 人にまで人口が減少することが見込まれています。

年齢 3 区分別の人口動態では、平成 7 年頃から、総人口に占める老年人口（65 歳以上）の割合が 2 割を超える「超高齢社会」となっており、老年人口は平成 27 年には 1,845 人と増加傾向にあります。一方、年少人口（0～14 歳）は、平成 22 年には総人口に占める割合が 1 割を切り、平成 27 年には 361 人に減少しており、少子高齢化が大きく進んでいます。また、生産年齢人口（15～64 歳）についても減少傾向にあり、平成 27 年には 2,169 人となっています。

社会動態では、過去 10 年（平成 21 年～平成 30 年）の状況を見ると、転出者が転入者を平均で約 45 人上回っており、社会減の状態が続いています。転出者は 20～30 歳台に多くみられる傾向があり、転出の理由としては、進学や就職、結婚などが考えられます。

また、自然動態では、過去 10 年間（平成 21 年～平成 30 年）の状況を見ると、死亡数が出生数を上回り、平均で約 61 人減少しており、自然減の状態が続いています。出生数も減少傾向で、合計特殊出生率は平成 27 年には 1.36 となっており、低下が見込まれています。

本町は、少子高齢化が進むなか、出生数の減少だけでなく、若年層の転出が多いことと未婚率も上昇傾向にあることが、人口減少の大きな要因となっており、町存続に関わる危機的な状況となっています。

人口減少が地域経済に与える影響は大きく、将来の就労・結婚・子育ての不安による若い世代の都市部への移住や基幹産業従事者の高齢化などが要因となり、さらなる人口の減少、高齢化率の上昇、出生率の低下、経済の縮小が進むという悪循環を招き、労働力不足、都市・集落機能の低下などの諸問題が生じています。この状況に歯止めをかけ、好循環を確立していくために、次の事項を本計画期間における基本目標に掲げ、地域活性化に関する施策を計画的に実施します。

- ・基本目標 1 安定した雇用を創出する
- ・基本目標 2 九度山町へ新しいひとの流れをつくる
- ・基本目標 3 九度山町で若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ・基本目標 4 地域と地域をつなぎ、時代にあった安全安心な暮らしを実現する

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	新規雇用者（観光関連、農業 関連）	0名	8名	基本目標 1
	新規企業、創業創出	0件	1件以上	
イ	観光入込客数	81万人	81.8万人	基本目標 2
ウ	合計特殊出生率	1.36	1.47	基本目標 3
エ	健康寿命延伸指標	90.7%	90.7%	基本目標 4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2及び5-3のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

九度山町まち・ひと・しごと創生事業

ア 安定した雇用を創出する事業

イ 九度山町へ新しいひとの流れをつくる事業

ウ 九度山町で若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

エ 地域と地域をつなぎ、時代にあった安全安心な暮らしを実現する事業

② 事業の内容

ア 安定した雇用を創出する事業

主要産業である農業は生産性向上だけでなくさらなる発展を目指します。また観光産業の振興による雇用創出や起業・創業への支援を充実させ新産業の創出を目指します。

【具体的な取組】

- ・新規就農者の育成・支援
- ・起業創業の支援 等

イ 九度山町へ新しいひとの流れをつくる事業

町内の産業や生活環境の魅力を高め、「働きたい、住みたい、移住したい町九度山町」を目指します。

【具体的な取組】

- ・移住・定住の支援
- ・遊休施設を活用した都市部との交流 等

ウ 九度山町で若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

一人ひとりの結婚・出産・子育ての希望がかなう環境づくりに取り組み、子育て支援の充実を目指します。また、教育・スポーツの振興を目指します。

【具体的な取組】

- ・妊婦・出産の支援
- ・英語教育の推進 等

エ 地域と地域をつなぎ、時代にあった安全安心な暮らしを実現する事業

町民の安全安心なまちづくりとともに保健・福祉の充実を目指します。

【具体的な取組】

- ・ 自主防災組織の充実
- ・ 地域住民（団体）による活動を支援 等

※ なお、詳細は第2期九度山町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

100,000千円（2021年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度9月に、外部有識者による効果検証を行い、必要に応じて取組方針の見直しを行います。検証結果は、検証後速やかに九度山町ホームページで公表します。

⑥ 事業実施期間

2021年4月1日から2025年3月31日まで

5-3 その他の事業

該当なし

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで